



とうり 桃李

7月号

平成 28年 7月 1日(金)発行

桃李学園本部事務局
〒501-0461
岐阜県本巣市上真桑 1870
TEL : 058-324-1191
FAX : 058-324-0347
URL : <http://www.tesacademy.jp>

小学生とご父母のみなさん

桃李学園 塾長 福田 洋

「まんでん」はテスの英才教育だ

えいさいきょういく

げんごのうりよく すうりょうのうりよく の

言語能力と数量能力を伸ばす

歌舞伎役者の家系では、3歳で初舞台を踏むことになっているそうです。また、親がバイオリンストであるような音楽が満ちている家庭で生まれた子供は、幼児期から教育を受けることができるため、その道に進むために他の家庭より断然有利であることは確かなようです。だから、歌舞伎の家系で、歌舞伎役者がつながっていくことには意味があると思われます。他の家系にも才能がある人はほとんど同じくらいの確率で生まれるでしょうが、幼児期に特別な教育を受けないから、開花しないだけだと考えられます。

8月から開講する小学生対象の「まんでん」教室は、「言語的な能力」と「数量的な能力」を早くから養い中高で開花させることを目標としています。そのために小学校1年生から小

4までを中心
に教育したい
と考えていま
す。5年と6年
に対しては、
中学校の先取



り学習と位置づけています。これが、英才教育である「まんでん」で、教育対象の生徒を小1から小4としている理由です。

少しでも早く始め、そして継続すれば、きっと小学生の言語的能力と数量的能力を誰でも高めることができるに違いないと考えています。これは、中学高校で花を咲かせることができると信じています。

この8月開講する計画です。みなさまのご理解とご支援をいただきますようお願いいたします。



国語使用教材



算数使用教材

試験で「あがる」という人に、克服法

シカゴ大学の教授が勧める方法紹介

普段の力が出し切れないのがむしろ普通

入試や実力試験のように大事なテストになると、「緊張してしまった」とか、「普段の実力が発揮できなかった」という人は少なくありません。入学試験のように、その1回の試験で自分の将来が決まってしまうようなプレッシャーのかかる場合は、普段の力が出し切れないのがむしろ普通です。

試験への不安を書き出す

では、どうしたら普段の実力が発揮できるでしょうか。東大教授の池谷裕二先生の本に、シカゴ大学のペイロック博士が行った実験が載っています。この博士が提案する方法は、「試験への不安を書き出す」ことだと言っています。

ペイロック博士らは、高等学校の生徒106名に対し、進学と落第がかかる期末試験でこの事実を確認したそうです。テスト直前に10分の時間を与えて、次の試験科目のどの部分がどう不安かを具体的に書いてもらったのです。すると緊張がほぐれて10%ほど点数が向上したそうです。

この実験では、試験に関係ないことを書くのでは効果がなかったことから、テストに対する気持ちを素直にはき出すことが必要だと博士は言っています。

皆さんの中で、模試や実力テストなど、大切なテストになると、緊張して普段の実力が発揮できないと思っている人は、実際やってみてください。

読書感想文を書くコツは？

夏休みといえば、読書感想文が課題として出されている学校も多いと思います。読書感想文の書き方のヒントをここで押さえておいて、多くの感動を本から受けてほしいものです。感想文を書くことにしり込みせず、難しく考えず自分の思ったこと書きましょう。



① まずは本選びから

自分以外の人に「これ、おもしろいよ!」と伝えたいような本であれば、楽しんで読書感想文を書くことができます。まずはそういう本を選ぶことが、読書感想文を書くスタートになります。

② 読書メモを作ったり、本に付箋を付けておこう

本を読みながら、「わっ、ここおもしろい!」「感動!」と思った場面にはしるしをつけ、なぜそう思ったのかをメモ

する習慣をつけておきましょう。これが「読書メモ」です。

③ 構成を考えて書こう

一般的には四段落構成にします。

第一段落は、『その本と出会ったきっかけ』です。

第二段落は、わかりやすく簡潔に、『その本のあらすじ』を書きます。

第三段落は、単に「おもしろかった」ではなく、『どの部分が、なぜおもしろかったのか』を書きましょう。

第四段落は、まとめの部分です。ここには、『その本を読んだ経験によって得たもの』を書くといでしょう。

